



2023-2024年度
RI会長
ゴードン R. マッキナリー
RIテーマ
CREATE HOPE in the WORLD

国際ロータリー第 2830 地区

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6 八戸プラザホテル内
TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 築館 智大 会長 ● 小林 弘文 幹事 ● 平野 薫 SAA ● 久保 隆明

<https://8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30 開会



12月 疾病予防と治療月間

vol.18

第 2550 回例会 2023.12.5

12:30 ~ 八戸プラザホテル
司会：吉田美登紀副SAA

RIテーマ
点鐘

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング
- ・四つのテスト

誕生日祝い



千葉 哲也会員



吉田美登紀会員

記念日



小田 正会員



中山恵美子会員

(食事)

会長要件



小林弘文会長

本日は、ポリオ出前授業の予定でしたが10月にやりましたので、9月のロータリーの友月間に出来なかった、ロータリーの友の学習をさせていただきたいと思ひます。

まず、先週も理事会の報告をしましたが、欠席の方もいらっしやったので改めて報告させていただきます。

モロッコ地震災害支援について、ニコニコより3万円、当クラブとして支援することになりました。

12月19日のクリスマス家族例会の参加対象、会費についてお知らせします。ウルスラのインターアクトクラブの生徒と先生、北クラブ会員及び家族、ここ数年で退会されたクラブ会員を対象としたいと思います。会費は、クラブ会員6000円、会員家族の高校生以上6000円、中学生以下無料、ウルスラさん無料、退会された方6000円です。恒例のクリスマスプレゼントは1000円程度のを1人最低2個ご準備ください。よろしくお願ひいたします。

先週、八戸北インターと八戸ジャンクションの間

で大型トラックの左後方のタイヤが脱輪して死亡事故がありました。先月も北海道で軽四輪自動車の左前輪のタイヤがはずれて幼稚園児に直撃し重体になっている事故もありました。タイヤが外れる前兆を皆さんにも覚えておいていただければと思います。

タイヤが外れる目安が交換して1か月前後だそうです。冬タイヤに変えてそろそろ1か月という方もいらっしやると思ひます。外れる前兆としてタイヤ周辺からの音、ガタガタ、ゴトゴトとかナットとホイールの隙間から鳴り始めて、ハンドル操作するたびに異音、ガチャ、ゴキッと音がするそうです。走っていれば振動も発生します。運転者はあまり気付かないです。左の後方が一番外れやすく、後部座席に乗った人でなければ気付かないそうです。スタンドに行った時には、空気圧と一緒にホイールも見てもらいましょう。これから冬本番です。車の運転には皆さんご注意して元気に例会に参加していただければと思います。

幹事報告

平野 薫幹事



- ◎12月のロータリーレート 1ドル=147円
- ◎2025年規定審議会地区代表議員から決議審議会の結果について(回覧)

◎2026-27年度地区ガバナー候補者選出について再度のお願い

◎1月9日の新年互礼会、お弁当配布

親睦委員会

吉田悦子会員

ニコニコBOX

- 源新和彦会員：早退失礼致します。
- 中山恵美子会員：記念日祝、ありがとうございます。
- 小田 正会員：結婚記念お祝いありがとうございます。50回目(金婚)です。
- 千葉哲也会員：誕生日祝ありがとう。
- 吉田美登紀会員：誕生日のお祝、ありがとうございます。
- 田村隆直会員：皆さん、お久しぶりです。
- 米山記念奨学金
- 奥井義則会員：
- 神山智子会員：
- 吉田悦子会員：
- ポリオ・プラス
- 千葉清彦会員：

出席報告

本日の出席率 75 %
前々回 (11 / 14) の修正出席率 76.3 %

ロータリーの友について 小林弘文会長

その前に、お知らせがあります。先月、能楽キャラバン公演をした鎌倉能舞台が、令和6年度4月から学校巡回公演事業を青森県で行うことになりました。半日ほど公演するというので希望する小学校、中学校を募集しています。興味ある方、お知らせしたい方がいらっしゃれば資料を私が持っておりますのでお届けします。1週間ぐらいのうちに声がけください。

「ロータリアンなら読もう『ロータリーの友』、本来ならば9月にやるものですが、ガバナー公式訪問があつて機会がなかったので学習したいと思えます。1年に1回ロータリーの友をちゃんと読もうね、と意識付けをしないとなかなか読まないものだなと思っておりますので、皆さんお耳をお貸しいただければと思っております。

こちらはロータリーの友の学習資料でMyRotaryから引っ張ってきました。

「ロータリーの友」は国際ロータリーの機関雑誌になっております。ロータリアンには国際ロータリーが認可したロータリーの雑誌の購読義務があります。日本のロータリアンは、アメリカ本部で発行しているROTARY誌もしくは、ロータリーの友を購読することになっています。



RIの認可を受けるための条件の一部を紹介します。RIに認可された雑誌が世界には30種類以上あります。写真は、左からアメリカ、日本、台湾、韓国、ポルトガルのいずれも7月号の表紙です。

国際ロータリー (RI) に認可を受けるために (一部抜粋)。①毎月掲載している、RI会長メッセージや、財団管理委員長メッセージなどのほか、国際大会参加推進の記事、会長エレクトのQ&Aなどが掲載されています。②RIの方針、方向性への理解が深まるような記事を掲載しています。③年に6回以上発行すること (各号少なくとも24ページ以上にすること)。④ロータリーの友は、ロータリーの機関雑誌ですが、その内容はロータリーのことだけではなく、ロータリー活動と奉仕の枠組みとなる文化的、倫理的、道徳的な問題を取り上げることで、読者の視野を広める記事も提供しています。加えて、ロータリーの友を会社やご自宅に持ち帰っていただき、社員の方やご家族の方も楽しめるような記事づくりを心がけています。⑤読者が印刷媒体か電子媒体を選択できること。⑥RIの資金援助を受けずに経済的に自立すること。特に①②⑤について詳しく紹介します。

①国際ロータリー (RI) が指定する記事を掲載する。ロータリーの友がロータリーの雑誌として認められるために、国際ロータリー本部が指定する記事を掲載しなければなりません。それと同時に、ロータリアンにはロータリーの雑誌を購読する義務があります。つまり、ロータリアンは本部が指定した記事を読む必要があるということです。毎月、RIが掲載を指定する記事には、会長メッセージ、財団管理委員長メッセージ、国際大会の参加推進記事があります。指定記事には、地球儀にRIと書かれたロゴを表示しています。世界中のロータリアンが読んでおくべき内容なので、ぜひお読みください。

②国際ロータリー (RI) の方針を正しく伝えること。RIでは近年、統一性のあるブランディングの構築を目指しています。このため、ロータリークラブやローターアクトほか、各種ロータリーのプログラムで公式ロゴを正しく使うことが奨励されています。ここに示した写真は、残念ながら『友』では掲載できません。なぜか分かりますか?その理由は、公式ロゴではないマークが入っているからです。

③国際ロータリー (RI) の方針を正しく伝えること2。正しい公式ロゴの使い方は、RIのウェブサイト、マイロータリーの中のブランドリソースセンターに掲載しています。ウェブサイトからフォーマットを使って自分たちのクラブの名前入りのロゴも作れます。地域社会にロータリーの統一したブランドイメージを広めていきましょう。

⑤ロータリーの友を購読している人は、印刷媒体か電子媒体を選択す

ることができます。(印刷版購読者も電子版を利用できます)。追加の料金はかかりません。最新号は毎月1日に更新されます。ご利用いただくためには、クラブごとに発行されるID、パスワードでログインが必要です。ID、パスワードは、友事務所から送られる友誌の請求書に記載していますので、クラブ幹事あるいは、クラブ事務局など請求書を管理している方にご確認ください。また、このサイト内では、1953年1月の創刊号を含むバックナンバーがすべてご覧いただけます。検索機能も充実しているので、ぜひ活用ください。なお、パスワードは、7月15日と1月15日に変更します。

そのほかの条件として、現在、7月号にはRIから配信される新会長の写真を使うことが機関雑誌として決められているのですが、RI会長の写真が最初に表紙に使われたのは、1979年。夫妻で表紙を飾ったのは1990年です。ロータリーの雑誌の購読が義務付けられたのは、1977年の規定審議会です。ロータリーの友がRIから公式地域雑誌として承認を受けたのが、1980年なので、この時期に前後して、RIの情報が多く掲載されるようになりました。ロータリーの友は、国際ロータリーのオフィシャルな情報を掲載しつつ、創刊当初の目的である国内のロータリアンの情報交換や親睦を深めるような記事の掲載を続けています。

23-24年度『友』表紙 DEI推進に取り組む。ロータリーの友の今年度8月号以降の表紙は、昨年度に引き続き障害のある人が創作した作品で表紙を飾っていきます。アートは健常者の特権ではありません。障害のあるなしにかかわらず、豊かな才能と表現で彩られた作品を紹介することで、DEI (ディーイーアイ/多様性、公平さ、インクルージョン) 推進に取り組むロータリーの方針をアピールします。

横組みと縦組みがある理由。ロータリーの友の大きな特徴として、表紙が2つあり、横組み、縦組みで構成されるということが挙げられます。創刊時は、全て横書き (横組み) でした。しかし、俳句を掲載するようになり、部分的に縦書き (縦組み) で掲載するようになりました。その後、横書き、縦書きが混在していましたが、縦書きで掲載する記事も増えてきたため1972年1月号から横書きと縦書きを分けた形式になりました。この時から、表紙は2つになったわけです。現在、横組みでは、RI関係の記事、特集、ロータリーに関する理解を深める記事を中心に取り上げています。今年度から、ロータリークラブ・地区の活動を紹介するロータリーアットワークを横組みの掲載に変更しました。縦組みは、読者のエッセイ、俳句など趣味のコーナー、知識が広がる講演や卓話の要旨、など会員同士の親睦を深められるような記事を掲載しています。親しみやすく、人気があるのは縦書きの欄です。しかし、先ほどもお話しした通り、RIの指定記事を読んでこそ、会員の購読義務を果たしたといえますので、指定記事もぜひぜひご一読ください。

クラブの活動やロータリーで疑問に思っていること、直接的にロータリーとは関係していないけど、読者の仲間に伝えたいエピソードなどお書きの上、友事務所までお送りください。全国のまだ知らないロータリアンからの反響があるかもしれません。投稿がきっかけで、友達ができた、同じ趣味のグループができたという声もあります。まだ会ったことのないロータリアンと友達になるチャンスです。投稿は、友誌に記載している編集部メールで受け付けているほか、友ウェブサイトの投稿フォームからも受け付けています。投稿に際しては、友の誌面にある「投稿規定」あるいは、友のウェブサイトをご覧ください。ご不明な点があれば、編集部までお気軽にお問い合わせください。

ロータリーの友の創刊したきっかけは、1952年7月、日本のロータリーが2地区に分割されたことでした。分割後も、お互いの地区のことを知っていたという思いから、翌1月両地区の懸け橋として生まれた雑誌です。それ以来、『友』日本のロータリアンを結ぶお手伝いをしています。

最後に「ロータリーの目的」を推進し、ロータリアンの親睦を育む役に立つ雑誌を目指します。今後とも、ご購読、ご愛読をよろしく願います。

11月号に興味深い記事がありました。縦組み21頁「卓話の泉」の『『褒める』ということ』という記事です。

「人は本能的に自分を褒めず、マイナスの部分を見てしまう生き物。上司が部下を叱る時、上司の6割以上が数分以内に気持ちを切り替えるのに、叱られた側の20%以上は1年以上引きずるというデータがある。マイナスな言葉は周囲の人も不快にさせ悪い印象を与え、人間関係が悪化します。何気なく口にした言葉も積み積もり積もればその人の品性となります。例えば仕事終わりに「疲れた」ではなく「頑張った」。なるべくプラスの言葉を使うこと。異なる意見には「そう来るか」、相手に直してほしい場合は「惜しい」。まずは「すごい」「さすが」「素晴らしい」と褒め、後はそこから考えましょう。」

時間がある時にお読みいただければと思います。北クラブのIDは2830-01029、パスワードは01029-231です。お時間あればこちらの方ご覧になっていただければと思います。

点鐘

(誤字脱字がございましたらご容赦ください)